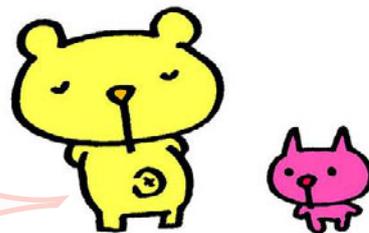




臍ヘルニアのおはなし	1ページ
こんなことしてます三重病院「やまばとギャラリー」ご存知ですか?/『こども健康講座』開催のお知らせ	2ページ
井口先生退任のごあいさつ	3ページ
三重病院あるあるクイズ③/アレルギー教室のクッキング/外来からのお知らせ/外来診察のご案内	4ページ

臍ヘルニアのおはなし

おへそにもヘルニアってあるの?
あ、デベソのこと?いいえ、いわゆる、デベソ
とは違うのですよ。今月は、臍(さい)ヘルニア
についてご紹介しましょう



① 臍ヘルニアとは?

おへそは母親と臍帯でつながっていたところですので、小さな穴が残っています。そのため、おへそのまわりの筋肉がまだ弱いうちには、泣いたりいきんだりしてお腹に圧力が加わった時に、腸がお腹をつつんでいる膜と一緒にとびだしてることがあります。それが、臍ヘルニアです。実は、小さなものも含めると、新生児の5~10人に1人ぐらい、この臍ヘルニアが見られると言われています。

生後3カ月頃までは大きくなりますが、ハイハイやお座りなどができると、お腹の筋肉がついてきます。すると、筋肉で臍ヘルニアは治っていきます。90%以上の子供が2歳頃までに自然に治ります。

② 臍ヘルニアになったら?

自然に治ることが多いので、基本的には、治療を必要としません。また、臍ヘルニアは嵌頓すること(とびだした腸がもどらなくなって、血の循環が悪

くなってしまうこと)はほとんどありませんので、経過観察して頂ければ、特に問題ありません。しかし、まれに嵌頓することもあるので、へその痛みを訴える場合や、おへそがカチカチに膨らみ、赤くなったりするようであれば、すぐに医療機関を受診して下さい。

大きくなったヘルニアの場合、治ってもおへその皮が余ってしまい、見た目の、美容的な問題が残ることがあります。そこでおへその圧迫法が試みられています。この方法は、そのまま放置するより短い期間で、しかも見た目がよい状態で治ると言われています。

また、よくならずに手術となる場合でも、あらかじめおへその圧迫法をしておくとう手術が比較的に簡単にすむことがあります。一度かかりつけの先生か小児外科を受診して、ご相談して頂ければと思います。

ただし問題点として、テープで固定するため、かぶれやおへその炎症を起こしてしまうことがありますので、かぶれがひどい場合はやめた方が無難です。

また、2歳を過ぎたお子さんでは自然に治癒することはほとんどありません。この場合、手術以外の方法での改善は見込めませんので、小児外科へを受診をお勧めします。手術は、ヘルニアを閉じて、必要ならおへその形をよくする形成術を加えます。

おへそに関して、気になることや、ご相談があれば、一度小児外科を受診して下さい。

(小児外科 松下 航平)



臍ヘルニア手術風景